

そらのとり



岩見沢聖十字幼稚園
園だよりNo. 1
2025年4月30日発行

1年のスタートの聖句
『主はすべてのものに恵みを
与え、造られたすべてのものを
憐れんでくださいます』

(詩編 145章 9節)

4月の聖句『神は愛です。』

神は愛です。愛にとどまる人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってくれます。(新約聖書ヨハネの手紙Ⅰ 4章16節より)

4月は待ちに待った桜の季節ですね。
入園式が終わり、少しずつ幼稚園の生活にも慣れ、お友達もできたかな、
初めて家族から離れて集団の中に自分が置かれた時、寂しさや、不安を覚えるものです。

聖十字幼稚園は神様に愛された幼稚園です。

いつどんな時も神様が、こどもたち一人一人に寄り添い見守っています。

それは保護者の方々のわが子を愛する思いに共通しています。

幼稚園では先生方が皆さんに代わり子どもたちに愛の眼差しでどんなときも、ずっと寄り添い続けています。子どもたちは神様から預けられた大切な、大切な存在です。神様の愛を子どもたち一人一人に心を込めて降り注いで参ります。

チャブレン・司祭 越山健蔵

幼稚園を探検しよう！



初めての幼稚園

毎年この時期は「ママー」「お姉ちゃんー」「エーーー」と泣き声がにぎやかであります。それもだいぶ泣いてきました。でもまだ、お片づけや切り替えになると、ふと我にかえってさめしくなるようです。

でも、今日の朝、園庭に行きたくない」と泣いていたお友だちも、園庭遊びはじめると目がキラキラ輝いて、「ニコニコ笑顔になっていたようです。

おすもうのあとはさすがに、しくしく泣いていましたが何とかいまして。ぐりとぐらさんだと、おすもうのハーレルもまだよく理解できていなか中、小鳥いいというよりも、初めての緊張やおどろきで泣いているようでした。

园庭遊びはじめると目がキラキラ輝いて、「ひとつひとつが大切な経験ですね。」

オレンジ色の小さな帽子は「うくまちゃん」と「ごまちゃん」です。(もう少ししたら、ちくまちゃんも仲間入りします) おへやのキャットウォーク+アベリ台がみんな大好きで、エンドレスで樂しみでる遊び。今、ぶんばっているのは、草月のおじさん。水筒を出して、コップ、タオル、リュックをかけ、一歩終わったら、一歩いきながら、靴の脱ぎ履きや、ズボンの上げ下げがさきるお友達もいるそうです。

まだおもてを見たりたて元気張っているそうです。靴の脱ぎ履きや、ズボンの上げ下げがさきるお友達もいるそうです。

こひつじ（自由選択活動）の時間のみんな

4月24日(木)は、やっと晴れて、園庭も整ったので、みんなで外遊びを楽しみました。みんなは、何をしてるか?と見にいってみると…左側的に「土族」(つちぞく)の人たちが多かったんですね!! 春はいつも! 土をもってきておまかせと熱中したり、水たまりを見つけて、土と混ぜて入れ物に注いでみたり、土を土盛りおこして虫を探しているお友だち、泥だんごを丸めているお友達もいました。

まだ花や木の実がなさいのですが、よっぽどクローバーを見つけて見せてくれたお友だちもいました。

土や植物で樂しいんじたのは、年長さん年中さんか、多く、年少さんより小さいお友達は石けを楽しんでいました。

幼稚園に新しいおともだちが来て、やっとクラスが動き出しました。クラスの先生方は春休み中、話し合ったりお部屋の準備をしたりしながら、とても楽しみに待っていましたよ。子どもたちが「幼稚園に早くいきたい！」と思えるような、めちゃくちゃ楽しく、しみじみ優しく、「これどうやるの？」「この虫なあに？」と好奇心が満たされる、そんな毎日になりますように！今年も一年よろしくお願ひします。（園長：菊地）

*ハイジブランコの足場に埋めこむ古タイヤを20本ぐらい探しています。どこかにありますか？